

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	音楽基礎3 (理論)	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	4単位			授業形態	講義
教科書/教材	基本的に毎回、映像・音源資料を視聴。その他参考資料等は、必要に応じて授業中に紹介。				
担当教員情報					
担当教員	平下政志	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン/アレンジャー/コンポーザー		
学習目的					
現代の多様化した音楽には様々なジャンルの音楽が混在しているが、その中には過去からの確立した理論がベースに存在している。その知識を深め、多様なアプローチから作曲・編曲が出来るための基礎を学ぶ。					
到達目標					
学校指定のグレードをマスターすること。理論の中でも特にコードについて理解することを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	学校指定教科書から学ぶ、また必要と思われる部分は補足して講義する。 プロジェクター・ホワイトボードを使い、音を確認しながら説明する。				
注意点	筆記用具と五線譜ノートを持参する。 他の理論授業（特に水曜日の専攻ゼミ）と連携して進めていくため、授業時間外での予習・復習をする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	50%	前期末試験		
	小テスト	10%	確認の小テスト		
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	40%	出席率、および授業への参加姿勢		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	1年時の復習	ダイアトニックコード、機能และ声、ダイアトニックコードスケールの復習・確認			
2回	コードの解釈①	代理コードの内容と機能を理解する			
3回	コードの解釈②	裏コードの内容と機能を理解する			
4回	コードの解釈③	9th chordの意味・機能的解釈を理解する			
5回	コードの解釈④	11th chordの意味・機能的解釈を理解する			
6回	コードの解釈⑤	13th chordの意味・機能的解釈を理解する			
7回	テンションノートの解釈	テンションノートの変位音について理解する			
8回	スケールの解釈①	ホールトーンスケールの音列、機能を理解する			
9回	スケールの解釈②	オルタードスケールとリディアン♭7の音列、機能を理解する			
10回	スケールの解釈③	コンビネーションディミニッシュスケールの音列、機能を理解する			
11回	コードとスケールの解釈①	テンションコードとスケールの関係について理解する			
12回	コードとスケールの解釈②	オルタード7thコードとオルタードスケールの関係性と解釈を理解する			
13回	アドバンスコードの解釈①	アッパーストラクチャートライアドの構成音と仕組みについて理解する			
14回	アドバンスコードの解釈②	アッパーストラクチャートライアドの種類と機能を理解する			
15回	前期末試験	前期授業内容の理解度を確認			